



2020年 プログラム近況報告

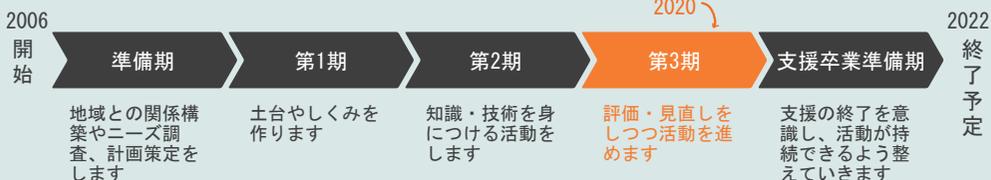
モンゴル バヤン・ウルギー地域開発プログラム

地域を代表し、皆さまに感謝いたします

私たちの地域の子どもたちのために、ご支援をありがとうございます。今年最大の成果は、地域住民が教育の重要性について意識を高め、子どもたちが健やかに成長できるようになったことです。その結果、保護者たちは子どもたちのために、学校や家庭でより良い環境を作るために働くようになりました。

しかし、課題は未だ多くあります。皆さまの継続的なご支援により、支援を最も必要としている弱い立場にいる子どもたちとその家族に、手を差し伸べることができます。皆さまのご支援に心から感謝いたします。

ボラトベック・ダウレットカン
バヤン・ウルギー地域開発プログラム マネージャー



支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

ご支援により、バヤン・ウルギー地域の子どもたちがよりよい環境で育つことができます



261 世帯

がビジネススキルを身につけたことで、86世帯が収入を得て、子どもたちのために栄養価の高い食材を買えるようになりました。



2,098 人

の子どもたちが、課外活動に参加し、ライフスキルを学びました。



700 人

の10代の子どもたちが、身の回りの課題について話し合ったり、地方自治体に自分たちの意見を伝える方法を学びました。



2,360 人

が子どもの権利を尊重した肯定的な子育て方法を学んだことで、子どもたちは家族に大切にされ、愛されていると感じられるようになりました。



「昨年まで3人で1つの机に座っていたので、ノートを書くのが大変でした。学校で新しい机の支援を受け、今では勉強がしやすくなりました」

インジュちゃん、8歳（右側）



自信を持てるようになり、 何事にも一生懸命取り組んでいます！

13歳のアフトルキンちゃんは内気で、学校でも積極的になれずにいました。アフトルキンちゃんの両親は失業中で、5人の子どもたちの世話をする余裕がありませんでした。

支援を通じ、両親は子どもの保護と子育てに関する研修に参加しました。また、収入向上に関する研修にも参加し、事業を始めるためにヤギの支援を受けました。アフトルキンちゃんも、ライフ・スキルを身につけるために子どもクラブに通い始めました。

「子どもクラブの劇で、子どもたちが直面する課題を表現する方法を学びました。自分の考えを表現する方法を知り、自信を持てるようになりました。学校でも一生懸命勉強して、家では子ヤギの世話をしています。また、両親に大切にされていると感じられるようになりました」と、アフトルキンちゃん（左から2番目）が話してくれました。

ご支援いただきありがとうございます。

貧困の原因を根本から解決することで生きることが困難な2億人以上の子どもたちの生活が改善しました
(ワールド・ビジョン全体での数字です)

「栄養価の高い食事の作り方を学び、子どもたちに栄養があって食べ応のある食事を作れるようになりました。料理ができるようになったので、食堂でも働けるようになりました」

- ラウサンさん、母親

モンゴル バヤン・ウルギー地域開発プログラム 2019年度(2018年10月1日～2019年9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位：円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	56,134,503
前期からの繰越額	-72,203
プログラム支援額合計	56,062,300
プログラム支出額	
子どもの保護プロジェクト	17,584,936
経済開発プロジェクト	18,665,133
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	19,522,588
プログラム支出額合計	55,772,657
次期繰越額	289,643

活動内容



子どもの保護プロジェクト

- ・ 保護者や子どもへの子どもの保護に関する研修
- ・ 子ども・青少年クラブ活動支援



経済開発プロジェクト

- ・ ぜい弱世帯への起業や職業訓練による生計向上支援
- ・ 貯蓄グループの設立と活動支援
- ・ 自然災害に対する遊牧民世帯向けの防災研修
- ・ 川の氾濫による被害世帯への支援



スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- ・ 手紙・成長報告を通じたチャイルドとの交流
- ・ チャイルドの定期的なモニタリング
- ・ 「子どもを中心とした開発」の啓発活動

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

 TEL: 03-5334-5351

 Eメール: dservice@worldvision.or.jp ホームページ: www.worldvision.jp

プログラム番号: MOG-184842